

# 第6次会津若松市男女共同参画推進プラン 【令和6年度実績報告】

令和7年12月  
会津若松市

## 1 目的

本実績報告は、「第6次男女共同参画推進プラン」に掲げた目標の実現に向け、計画に位置付けた取組の着実な推進を図るため、取組の進捗状況をとりまとめ、社会情勢や市民ニーズ等を踏まえながら部局横断的な評価検証を行うことで、取組の方向性の確認や必要な改善等の見直しにつなげるものです。

### 【参考：「第6次男女共同参画推進プラン」の概要】

#### (1) 基本理念

性別にかかわりなく、多様性を尊重し、一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮することができるまちを目指して

#### (2) 計画期間

令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）まで

#### (3) 基本目標

- 基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備
- 基本目標Ⅱ 女性があらゆる分野に参画できる社会づくり（※「女性活躍推進法市町村推進計画」に位置づけ）
- 基本目標Ⅲ 誰もが安全・安心に暮らすことができる社会づくり

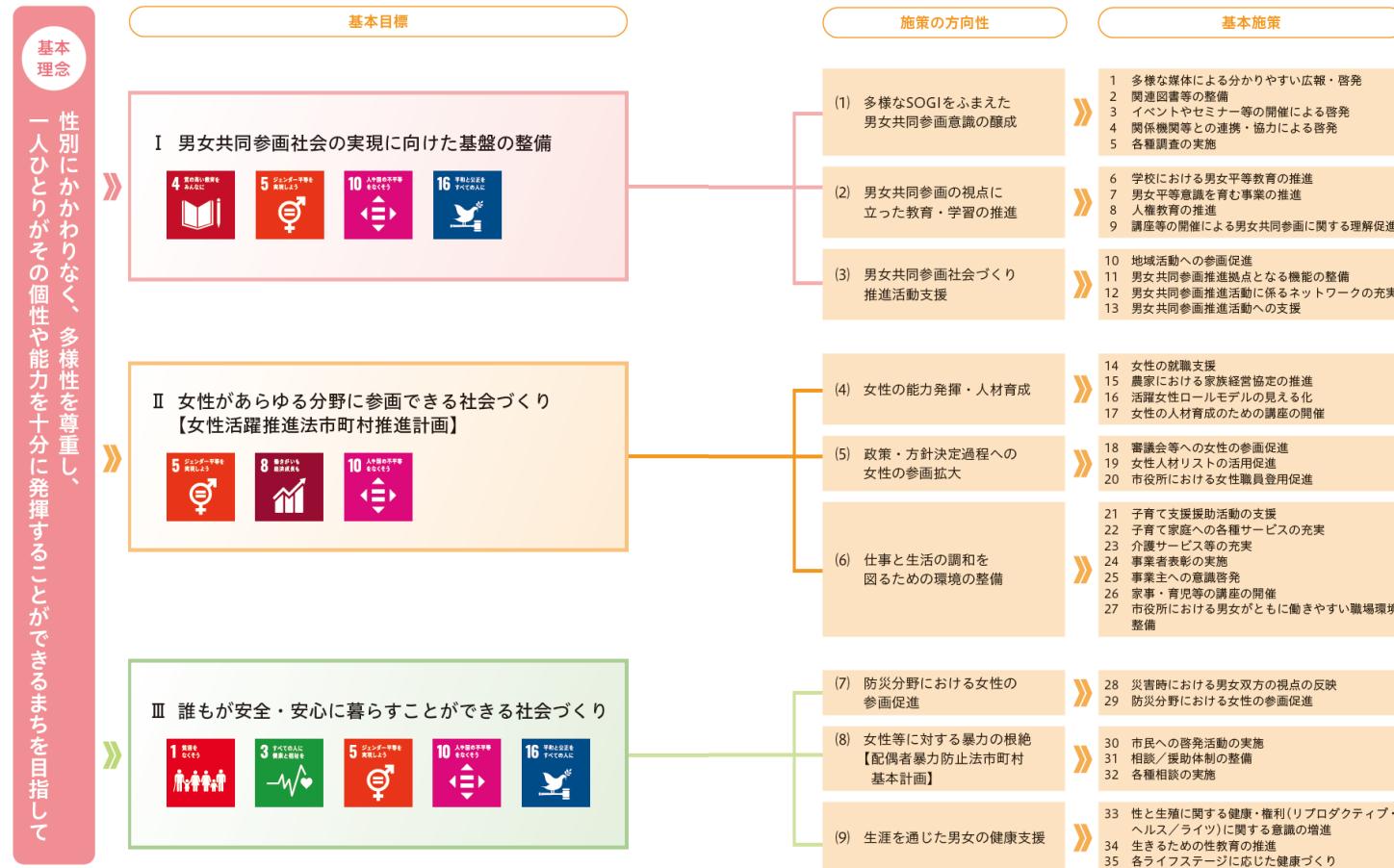
#### (4) 重点的に取り組む項目

- ① 仕事と生活の調和を図るための環境の整備
- ② 女性の能力発揮・人材育成
- ③ 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

#### (5) 新たな視点

- ① 多様なSOGIへの理解増進

## «計画体系»



### (用語の説明)

- ・男女共同参画社会…すべての人が性別にかかわりなく、一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮することができる社会のこと。
- ・SOGI（ソジ）…性的指向とジェンダーアイデンティティを表す英語（Sexual Orientation & Gender Identity）の頭文字をとった言葉。性的マイノリティの人たちを特別視するのではなく、個人のあらゆる性的指向やジェンダーアイデンティティを尊重するという考え方。
- ・性的指向…恋愛感情又は性的感情の対象となる性別。同性愛（性的指向が同性に向く人）や異性愛（性的指向が異性のみに向く人）のほか、性的な関心・興味や恋愛感情を持たない人もいます。
- ・ジェンダーアイデンティティ（性自認）…自己の属する性別についての認識に関する意識。自らの身体の性別と一致する人もいれば、一致しない人もおり、どちらの性別でもない、または、どちらの性別かわからないという認識を持つ人もいます。

## 2 令和6年度の実績と評価

### ＜基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備＞



#### 取組の方向性

誰もが、その個性と能力を十分に発揮して、あらゆる分野にともに参画し、ともに責任を担う社会づくりに向け、市民一人ひとりが性別にとらわれず互いの違いを認め合い、多様な生き方を尊重する意識の醸成を図ります。

#### (1) 主な指標の推移

指標 No.	指 標	実 績					R 10 目標値
		R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	
1	関連図書の年間貸出件数（会津図書館）	1,493 件	—	—	—	—	900 件
7	子ども人生講座の実施校数（市内小学校）	市立 13/19 校 私立 1/ 1 校	—	—	—	—	公立 19 校/19 校 私立 1 校/1 校
8	男女平等に関する作文コンクール応募者数（小・中学生の合計）	639 人	—	—	—	—	500 人

#### (2) 取組の検証

- 市ホームページや市政だより等による周知のほか、会津図書館における「男女共同参画コーナー」の充実、「LGBTQ +セミナー」の開催等により、市民の男女共同参画参画意識の醸成を推進しました。近年のテレビドラマや漫画、アニメ等の影響により、女性活躍やLGBTQ +をテーマとした図書の貸出件数が増加しており、市民の関心や理解の向上が見られます。
- 「子ども人生講座」や「作文コンクール」等により、子どもたちへの意識醸成を推進しました。作文コンクールへの参加が多い一方、「子ども人生講座」は実施校の固定化がみられます。
- 男女共同参画に取り組む団体等のネットワークづくりや補助を通じた活動の支援、町内会等における女性活躍推進に向けた啓発チラシの配布などの取組を進めました。補助制度の更なる活用や団体等のネットワークの強化、市民活動の拠点整備等により、地域における女性活躍をより一層推進していく必要があります。

#### (3) 今後の取組

- 引き続き、市ホームページや市政だより、会津図書館における「男女共同参画コーナー」の充実、各種セミナーの開催、「子ども人生講座」や「作文コンクール」等により、子どもから大人まで、男女共同参画の意識醸成に取り組みます。
- 男女共同参画に取り組む団体等のネットワークづくりや活動の支援、区長会研修会等での出前講座の実施等により地域における女性活躍推進などの取組をより一層推進していきます。

## <基本目標Ⅱ 女性があらゆる分野に参画できる社会づくり>



### 取組の方向性

長時間労働や固定的な性別役割分担意識に基づく働き方や昇進等を見直し、男女が主体的にライフデザインを考え、仕事・家庭・地域活動等の間に好循環が生まれるようなワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。

また、地域活動などの意思決定の場や、市の審議会や政治分野などのあらゆる政策・方針決定過程への女性の参画促進に向けて、女性の人材育成や男女双方への意識啓発、参画しやすい環境整備などに取り組みます。

#### (1) 主な指標の推移

指標 No.	指 標	実 績					R 10 目標値
		R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	
14	市の審議会等における女性委員の割合	29.8%	—	—	—	—	30.0%以上
16	市役所における女性管理・監督職の割合	20.5%	—	—	—	—	30.0%以上
27	男女共同参画推進企業表彰の表彰件数	累計 51 件	—	—	—	—	累計 60 件

#### (2) 取組の検証

- 「きらきら女性登録事業」や「女性向け起業・創業スタートアップ事業」により地域で活躍する女性人材の育成やエンパワーメントを行うとともに、ハローワーク等の関係機関等と連携し、求職活動や職業訓練の支援等を推進することができました。
- 「女性人材リスト」の活用により審議会等における女性委員割合の向上に努めるとともに、市においても適切な人事配置や職員教育等を通じ女性管理・監督職の割合向上に取り組みました。目標達成に向け「女性人材リスト」の充実や市自らの女性活躍の取組のより一層の推進が必要です。
- 子育て・介護サービス等の充実や男性向けの家事・育児講座の開催に加え、「男女共同参画推進事業者表彰」等を通じ、誰もが働きやすい職場づくりを行っている企業を表彰し、その取組を広く周知することなどにより、ワーク・ライフ・バランス推進に努めました。女性に選ばれる地域づくりに向け、魅力的な職場づくりや仕事と育児・介護等の両立支援をより一層強化する必要があります。

#### (3) 今後の取組

- 「女性人材・起業家育成支援事業」をはじめ、「きらきら女性登録事業」や交流会等の開催により、女性のキャリアアップ支援やロールモデル（目標となる人）との出会い・仲間とのネットワーク形成の促進等に取り組むとともに、事業者向けのセミナー、「男女共同参画推進事業者表彰」等を通じ、企業における固定的な性別役割分担意識の解消等を推進し、誰もが働きやすく、自分の能力を発揮できる職場環境づくりに取り組みます。
- 「女性人材リスト」の充実等により、市の政策決定への女性参画をより一層推進するとともに、市自ら女性管理・監督職の割合向上に努めます。
- 子育て・介護サービス等の充実や男性向けの家事・育児講座、さらには、女性が働きやすい環境づくり等への事業者の意識啓発などにより、仕事と家事・育児・介護等との両立を図ることができる地域づくりを進めます。

## <基本目標Ⅲ 誰もが安全・安心に暮らすことができる社会づくり>



### 取組の方向性

性別に関わらず、人権が守られ、安全・安心な環境が確保されるよう、女性や子ども等に対する性暴力やDVの防止、性別に応じた健康面への配慮等があらゆる分野において実現するよう、必要な取組を推進します。

#### (1) 主な指標の推移

指標 No.	指 標	実 績					R 10 目標値
		R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	
29	市の防災会議における女性委員の割合	17.3%	—	—	—	—	30.0%
35	子宮がん検診の受診率（20歳～69歳）	45.0%	—	—	—	—	50.0%
参考	DVの相談件数（主訴は別だが、DVを含む相談件数も含む）	326 件	—	—	—	—	—

#### (2) 取組の検証

- 防災分野への女性参画の促進に向け、地域防災会議への女性委員数を増やし、現在改定中の「地域防災計画」等に対し意見をいただきました。多様な方に配慮した地域防災力の強化に向け、引き続き、地域における女性防災リーダーの育成や防災会議における女性委員の増加等に取り組む必要があります。
- 女性相談窓口や各種無料相談会等の実施により、DVや離婚、ハラスメント、その他の困りごと等への相談の機会の提供や、相談内容に応じた適切な助言や支援機関の紹介といった対応を行いました。また、DV等の防止に向けた啓発事業等を実施しました。引き続き、困難を抱える女性や子ども等の相談支援体制を強化するとともに、女性や子ども等に対する性暴力やDVの防止に向けた教育・啓発活動を推進する必要があります。
- 各種検診の実施や健康相談、イベントやセミナーの開催等を通じ性別に応じた健康増進、性や生殖に関する正しい理解の促進に努めました。引き続き、各種検診の受診勧奨やイベント、セミナー等を通じ、意識啓発や健康増進に取り組む必要があります。

#### (3) 今後の取組

- 防災会議への女性参画促進に加え、防災出前講座等を通じて、自主防災組織をはじめとした地域の防災活動における女性参画を進めます。
- 各種無料相談会を継続するとともに、県男女共生センター・ハローワーク等の関係機関等との連携により、女性等に対する相談支援体制の充実・強化に取り組みます。
- 引き続き、各種検診の実施や健康相談、イベントやセミナーの開催等を通じ性別に応じた健康増進、性や生殖に関する正しい理解の促進に努めます。

### 3 令和6年度の総括と令和7年度以降の取組

#### 【令和6年度の総括】

本プランの推進や、国、県、企業、メディア等の取組により、徐々にではありますが、性別役割分担意識の解消や地域や企業における女性活躍推進、LGBTQ+への理解促進など、男女共同参画社会づくりが進んできています。

一方、市の審議会の委員や、管理・監督職員、町内会等の地域組織の役員など、政策・意思決定の場にしめる女性の割合が低いことや、女性の学びやスキルアップ、リーダーシップの醸成の機会づくり、ロールモデル（目標となる人）との出会いや仲間とのネットワークの形成、家事・育児・介護負担軽減等の課題があります。

また、性的マイノリティへの理解促進にあたっては、一定の理解は進んでいるものの、当事者が抱える具体的な課題や必要な支援等の把握が必要なほか、当事者の方々がつながりの創出や相談等ができる場が不足しています。

#### 【令和7年度以降の取組】

男女共同参画社会づくりに向け、令和7年度以降も引き続き、本プランに位置付けた各施策を推進していきます。

施策の推進にあたっては、令和6年度の取組の検証結果に加え、企業や地域等における性的役割分担意識や無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）の解消、男女の賃金格差の解消など、性別によらず誰もが働きやすく、能力や希望に応じてキャリアアップできる環境づくり等が、本市をはじめ、国・県をあげた重要課題であることを踏まえ、以下の方針を重点事項とし、関連する施策に取り組み、誰もが自分の希望に応じた生活や働き方ができる社会づくりを推進します。

##### ① 政策・意思決定過程への女性参画のより一層の推進

「女性人材リスト」の充実や活用推進により市の審議会等にしめる女性委員の割合向上に努めるほか、女性管理・監督職の登用促進や無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）の解消などに関するセミナーの実施、区長会研修会等における出前講座の開催等により、企業や市役所、地域活動等における女性活躍・ワークライフバランスの推進に取り組みます。

##### ② 女性の学びやスキルアップ、ロールモデルとの出会いや仲間とのネットワーク形成、家事・育児・介護負担の軽減

女性向けのセミナーの開催や「きらきら女性登録事業」等によるロールモデル（目標となる人）の紹介・交流会の開催等により、女性同士のつながりづくりやより一層のエンパワーメントに取り組みます。加えて、「女性人材・起業家育成支援事業」の実施や、国・県との連携による相談支援の機会の充実などにより、女性の更なるキャリアアップや就労・生活面での困難、格差解消等に取り組みます。また、子育て支援や介護サービス等の充実を図るとともに、男性向けの家事・育児・介護講座の開催などにより、性別によらず誰もが過度な負担を感じずに家事や家族のケアに取り組める環境づくりを推進します。

##### ③ 性的マイノリティの方々のつながりや相談の場づくり

市民や支援者向けの研修等を通じ、性的マイノリティに関する現状や課題、求められる支援等について学びを深めるとともに、当事者の方々が集まり、相談等ができる機会づくりに取り組みます。

## ■ 男女共同参画審議会の評価コメント

男女共同参画は具体的な数値目標の設定や評価が難しいテーマであるが、3本の柱を中心に取組目標を設定し、少しづつではあるが市民に意識が浸透している点は評価できる。

一方、高齢者向けの啓発活動の強化をはじめ、作文コンクールだけでなく、ポスターや標語作成など、子どもたちがより参加しやすい取組の検討、SNSやウェブサイト等による情報発信など、より多くの市民の皆さんに分かりやすく、関心を持ってもらえるような周知啓発活動を検討していただきたい。また、企業に対しては、引き続き、男女共同参画推進事業者表彰制度等を活用し、職場レベルでの平等や多様性の促進につなげていただきたい。